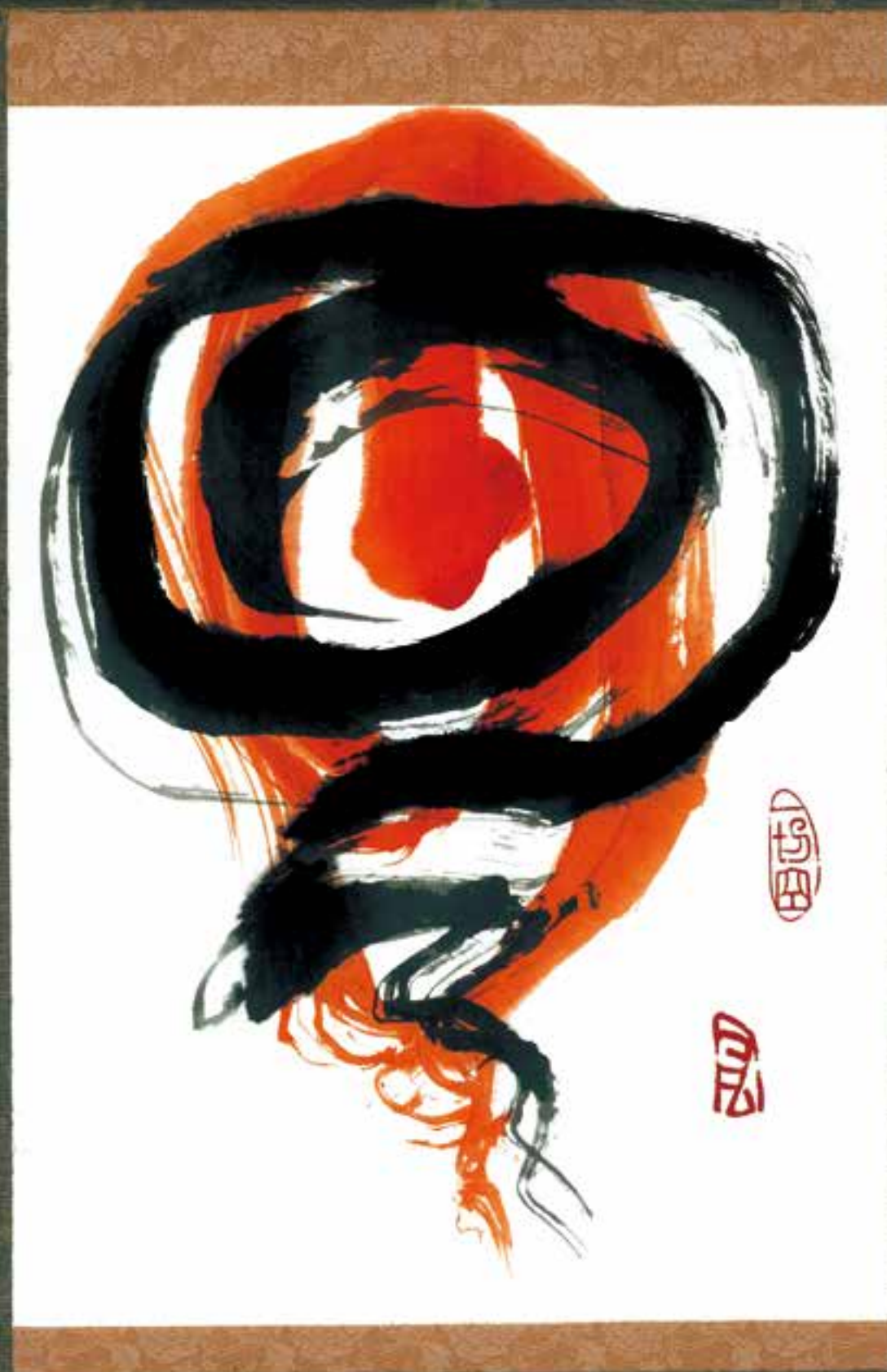


ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第208号

令和2年8月1日



新型コロナウイルス感染症 対策に係る補正予算を可決

第2回定例会

▼会期13日間
6月4日～16日

市長提出案件

32件（すべて原案のとおり可決）

●議案第41号 令和2年度結城市一般会計補正予算（第2号）

PICKUP

結城出張所が現庁舎（西庁舎）跡地に新設され、社会福祉協議会が健康増進センター跡地に移転します。

この補正予算で、新庁舎へ移転後の現庁舎（西庁舎）跡地に新たに結城出張所を設置する費用やCSF（豚熱）ワクチン接種に係る費用を増額します。

こんな質疑がありました

A Q 市社会福祉協議会移転委託料63万6千円の内容を伺います。
駅前分庁舎から健康増進センター跡地への引越費用になります。
引越作業は、運搬車両2台、作業員6名で2日間を予定しております。

●報告第4号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

国民健康保険税の基礎賦課額に係る賦課限度額を61万円から63万円、介護納付金課税額に係る賦課限度額を16万円から17万円にそれぞれ引き上げ、均等割額及び平等割額の軽減措置に係る判定所得について、5割及び2割軽減の基準所得を引き上げるものです。

こんな質疑がありました

Q 賦課限度額の引き上げと5割及び2割軽減の基準所得の引き上げにより影響する世帯数と金額を伺います。

A 令和元年10月20日時点のデータと比較すると、基礎賦課金の医療分で、11世帯、介護納付金分で16世帯が超過世帯から外れ、約450万円の増額で試算しております。また、5割軽減で該当するのは28世帯、98万8千円、2割軽減で6世帯、15万6,750円となっております。

●議案第48号 令和2年度結城市一般会計補正予算（第3号）

PICKUP

令和2年度一般会計予算に8,140万円を追加しました。

この補正予算で、主に新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業を行うための費用や、同感染症の影響で、市庁舎建設の工事期間が延長されることに伴い、市庁舎建設事業費を増額します。



人事案件

次の方の選任について同意

固定資産評価審査委員（選任第9号）

金子 照男氏

農業委員（選任第10号／選任第25号）

加藤 章氏

館野 昭弘氏

船橋 敦氏

松本宣一郎氏

大島 寛氏

稲葉 新一氏

中山 清美氏

大澤 吉己氏

須藤 克己氏

茂田 正治氏

猪野瀬廣和氏

平山とみ江氏

藤井 一郎氏

池田 和浩氏

石崎 榮氏

塚田 豊氏

第2回定例会 議決結果

議 案	議決結果	秋元 勇 人	石川 周 三	滝沢 利 明	上野 豊	大里 克 友	土田 構 治	會澤 久 男	大橋 康 則	佐藤 仁	平陽 子	安藤 泰 正	立川 博 敏	黒川 充 夫	早瀬 悦 弘	稲葉 里 子	大木 作 次	船橋 清	孝井 恒 一
報告第1号～報告第3号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
報告第4号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
報告第5号～報告第7号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第41号～議案第43号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第44号、議案第45号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第46号、議案第47号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
選任第9号～選任第25号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第48号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

※○は賛成 ●は反対 ☆議長 大木作次は採決には加わらない

	件 名	内 容
報告第1号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	所有者不明土地等に係る固定資産税について使用者を所有者とみなす制度の拡大等の地方税法の改正に伴い、結城市税条例等の一部を専決処分により改正するもの
報告第2号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	法律の改正に伴い、引用している条項が変更されたため、結城市都市計画税条例の一部を専決処分により改正するもの
報告第3号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	低所得者に対する保険料の軽減措置を拡充するため、所得段階が第1段階から第3段階までに該当する者の保険料を引き下げたため、結城市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を専決処分により改正するもの
報告第4号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	2ページに記載
報告第5号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	新型コロナウイルス感染症に感染した又は感染した疑いのある被保険者に対し傷病手当金の支給に係る申請受付を行うことができるよう規定するため、結城市後期高齢者医療に関する条例の一部を専決処分により改正するもの
報告第6号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した事業者に対する1年間の徴収猶予の特例及び固定資産税等の軽減措置について規定するため、結城市税条例の一部を専決処分により改正するもの
報告第7号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した事業者に対する都市計画税の軽減措置について規定するため、結城市都市計画税条例の一部を専決処分により改正するもの
議案第41号	令和2年度結城市一般会計補正予算(第2号)	主に、畜産業振興事業費の増額等により歳入歳出それぞれ4,460万円を増額するもの
議案第42号	令和2年度結城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	新型コロナウイルス感染症に感染、又は感染が疑われる国民健康保険の被保険者に傷病手当金を支給するための「傷病手当金支給費」を追加するもの
議案第43号	結城市行政組織条例の一部を改正する条例について	「結城出張所」の名称、位置及び管轄区域について規定するため改正するもの
議案第44号	結城市印鑑条例の一部を改正する条例について	個人番号カードを利用し、コンビニエンスストアの多機能端末機で印鑑登録証明書の交付を可能とするため改正するもの
議案第45号	結城市手数料条例の一部を改正する条例について	コンビニエンスストアの多機能端末機によって印鑑登録証明書及び住民票の写しを交付する際の手数料を定めるため改正するもの
議案第46号	結城市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症に感染した又は感染した疑いのある被保険者に傷病手当金を支給するため改正するもの
議案第47号	町の区域の設定について	結城第一工業団地上山川北部地区土地区画整理事業の施行に伴い、結城市大字上山川字前割、字石堂、字谷迎、字大久保の各一部を、若宮西として新たに町を設定するもの
選任第9号	結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	2ページに記載
選任第10号 く 選任第25号	結城市農業委員会の委員の選任について	2ページに記載
議案第48号	令和2年度結城市一般会計補正予算(第3号)	主に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費の追加等により歳入歳出それぞれ8,140万円を増額するもの

結城市議会では、議会費の一部を新型コロナウイルス感染症対策に活用してもらうことを全会一致で決定し、5月15日に大木議長、佐藤副議長、各会派代表の5名で小林市長へ申入書の提出を行いました。



新型コロナウイルス感染症対策に係る議会費活用の申入書

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、市においては、3月3日に対策本部を立ち上げ、その対策に鋭意取り組んでいただいているところです。

しかしながら、4月16日に全都道府県に緊急事態宣言が発令され、特定警戒都道府県に位置づけられた茨城県においては、5月14日に緊急事態宣言が解除されたとはいえ、全国的な終息はいまだ見通せない状況であります。

本市においても、小・中学校の臨時休業、公共施設の休館、各種イベントの中止等、市民生活に大きな影響を与え、活動自粛による収入減少や経済活動の停滞による市税等の歳入減少が懸念されるところです。

こうした状況下において、感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るため、結城市議会においても議員自らが率先し、財源の確保に全面的に協力していく所存です。

つきましては、本年度に予定していた政務活動費の全額返還及び委員会視察研修を取り止め、これに係る令和2年度の議会費620万5,000円を新型コロナウイルス感染症対策で真に必要とされる事業の財源として有効に活用されるよう全会一致をもって決定いたしました。

小林市長におかれましては、一層の感染拡大防止と市民の不安解消にご尽力いただきますようお願いし、議会費活用の申入れといたします。

令和2年5月15日

結城市長 小林 栄 様

結 城 市 議 会

～ 第1回臨時会が開催されました ～

令和2年結城市議会第1回臨時会が5月15日に召集され、議案1件が上程されました。審議の結果、全員一致をもって原案のとおり可決しました。

議案第40号 令和2年度結城市一般会計補正予算（第1号）

主に、特別定額給付金給付事業費の増額等により歳入歳出それぞれ54億円を増額するもの

○主な内訳	特別定額給付金給付事業費	5,202,292 千円
	生活困窮者自立支援事業費	8,892 千円
	子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	71,228 千円
	ひとり親世帯家計応援特別給付金給付事業費	7,123 千円
	中小企業事業継続応援貸付金事業費	23,500 千円
	小規模事業者緊急支援事業費	70,000 千円

新型コロナウイルス 感染防止対策につ いて

問 自粛期間中の分散
登校の状況について。

教育部長 5月25日か
ら分散登校を開始し、
密集を避けるため、小
学校では学級が2分割
になるよう登校日を設定し週2日、中学校では、学級を2分割し、午前・午後の二部制で週3日の登校日を設け、1日3時間ずつ授業を行っております。6月1日からは、小学1年生から5年生までは週2日、小学6年生は週

3日、中学生は週5日と登校日を増やして、学校再開に向けた準備期間としております。

問 9月入学の移行について所見を伺いたい。

教育部長 海外では、欧米諸国をはじめ、多くの国が9月入学を実施していることから、留学などグローバルな学びが充実できるといったメリットがある反面、会計年度の時期や企業等の就職の時期と学生の卒業時期のずれが生じること、幼児教育との接続では、入学までの半年間の対応など、

デメリットについても、多くの専門家や政治関係者の意見がマスメディアで取り上げられている状況であります。9月入学実施に向けては、法の改正と整備を必要とする制度であると同時に、社会全体のシステムを大きく変えることになりま



9月入学への移行について 十分な議論と準備期間が 必要になる

感染「第2波」への備えに万全を期しましょう。

くろかわ みつお
黒川充夫 議員

感染症（コロナウイルス）と自然災害 における避難所につ いて

問 新型コロナウイルス
感染症と水害、地震
などの「複合災害」に
備える県内自治体が出
てきました。

当市の現状を聞きながら、今後の取り組みを伺います。

市民生活部長 避難所にパーテーションや間仕切りテントを導入することで、同じ空間内での接触を避ける措置を検討しているところでございます。

また、避難所で運営業務を行う職員につきましても、自身が感染してクラスターの原因とならないよう、フェイスマスクや防護服、非接触型体温計などの感染症対策品を購入し、備蓄に向けた準備を進めているところでございます。いつ起こり得るかかわからない自然災害や複合災害に対し、過去の検証結果を踏まえ、避難所ごとの担当者における、現地対応訓練やレイアウトの確認等を実施するなど、避難所開設に向けての対応強化を図ってまいります。

問 感染症と自然災害における避難所について市長の所見を伺います。

市長 感染症対策が最大の課題であると考えております。今後につきましても、各種災害時の避難所開設における感染症対策を含め、担当職員の避難所運営等についても対策強化を図ってまいります。



▲台風19号（昨年10月）の際の避難所の様子

早急に感染症と自然災害を踏ま えた避難所を 感染症対策が最大の課題である



たいら ようこ
平陽子 議員

オンライン授業環境整備を早急に！

国の事業を活用し整備を進める

あきもと はやと
秋元勇人 議員

ウィズコロナの新生活の在り方を共に考えてまいりましょう。

ウィズコロナの学校運営について

問 小中学校再開後の児童・生徒への対応について。

教育部長 習熟格差の対応につきましては、臨時休業中に、インターネットを活用したオンライン授業動画の視聴などの周知に努め、推進してまいりましたが、各家庭のネット環境の違いや学習の定着度の格差が懸念されているところでございます。学校再開後におきま

しては、学習の習熟格差が生じないように配慮して授業を進めてまいりたいと考えております。児童生徒のメンタルケアにつきましましては、臨時休業が長期になったことから、学校再開後の学校生活への不適応や不登校といった生徒指導上の諸問題への対応が懸念されます。そこで、スクールカウンセラーや教育支援センターフレンド「ゆうの木」を活用し、きめ細かな支援を行ってまいりたいと考えております。また、発熱した友達に対し

て、悪口や故意に避けるといった「コロナいじめ」と称される問題の発生が危惧されております。事前指導を行い、いじめは絶対に許さないという姿勢で対処してまいります。教室等の運用につきましましては、児童生徒のフィジカルディスタンス（身体的距離）を確保するため、教室内のロッカーを移動させたり、出入り口を一方にしたりするなどして、学校の実情に応じて3密を回避するよう取り組みを実施してまいります。夏休みを

登校日にした場合の通学対応につきましては、猛暑の中の通学が予想されることから、熱中症などの安全対策を十分に講じるとともに、地域の方々の見守り等のご協力もお願いしながら、児童生徒の安全確保に努めてまいりたいと考えております。

問 小中学校の再度臨時休業判断基準とオンライン授業環境整備について。

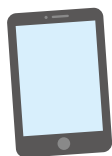
教育部長 原則、茨城県県の指標において Stage 1と判断されれば通

常登校となりますが、Stage 2以上に悪化した場合は、再び分散登校や臨時休業措置を余儀なくされるものと考えております。

また、その際の児童生徒や教職員における感染者や濃厚接触者の状況、県内や市内、そして地域における感染拡大の状況、感染経路の明否等を総合的に勘案し、臨時休業の規模やその必要性を本市の新型コロナウイルス対策本部会議において決定してまいります。

次に、再度臨時休業に

なった場合のオンライン授業ができる環境の整備につきましては、今後、文部科学省の提示する「GIGAスクール構想」の早期実現のため、国の補助金や交付金を活用し、児童生徒1人1台のパソコン端末整備や子ども達が家庭にいても学習を継続できるように、家庭へ貸し出し可能なモバイルWi-Fiルーターなどの可搬型通信機器の整備を進めてまいります。



コロナ関連 臨時交付金約1.7億円の事業計画は 18事業の速やかな実施を図る



いなば さとこ
稲葉里子 議員

臨時交付金で市民の声を
反映した事業の実施を

**新型コロナウイルス
感染症対応地方創生
臨時交付金について**

ます。必要な事業は第2次配分で申請できるような準備を進めてまいりたい。

問 地域の命と暮らしを守るため地域独自の取り組みを支援する臨時交付金が予算化された。交付金の活用について伺いたい。

新型コロナウイルスの感染症対応について

問 医師会との連携について伺います。

企画財務部長 本市においては1億6,993万9千円が交付限度額として示され、18事業からなる約3億5,200万円の事業計画を提出いたしました。6月下旬には交付決定の見込みとなっております。

保健福祉部長 医師会事務局を通して情報の共有・連携を図っているところでございます。

問 今後の医療体制整備について伺います。

保健福祉部長 茨城県及び結城市医師会等と連携し、適切な体制の整備に努め、今後予想される第2波、第3波に備えてまいりたい。

問 小規模事業者緊急支援給付金の概要と申請状況について。

経済環境部長 売上金額が令和2年2月から6月までの任意の連続する3か月間において、前年同月比で30%以上50%未満減少するなどの要件を満たした事業者に一律10万円を支給するものです。

問 学校における非接触型体温計及び空気清浄機の整備について。

教育部長 非接触型体温計につきましては、市内小中学校の各学級及び保健室に整備をする予定で、費用につきましては、臨時交付金を活用してまいりたい。空気清浄機につきましては、小中学校の教室等は、空間が広いこともあり、確実な効果を検証し、慎重に検討してまいりたい。

問 今後の市の対応について所見を伺います。

市長 新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、各種支援情報の周知、相談体制の確立、迅速な事務手続きなどを図ることにより「必要な方すべてに、できるだけ早く」支援を行い、地域経済や市民生活の回復に努めてまいります。



以上の質問の他に、新型コロナウイルス感染症への対応として、生きがいふれあいセンサーを臨時交付金の公共的空間安全・安心確保事業を活用し、感染機会の削減施設として整備できるか検討してほしいと要望しました。



▲内閣府資料より

高齢者等の給付金申請について

申請困難者を把握し申請支援を行う



たきざわ としあき
滝沢利明 議員

生活と命を守る支援・援助をお願いします。

特別定額給付金について

問 特別定額給付金の申請の手続きについて。

総務部長 申請方法は、「郵送申請方式」及び「オンライン申請方式」による二通りの受付を基本とし、「郵送申請方式」では、市から郵送される申請書に世帯主氏名を記入、押印し、印字してある世帯内の給付対象者を確認の上、給付金の振込先となる金融機関名、口座番号等を記入し、本

人確認のための運転免許証や健康保険証、通帳等のコピーを添付し、同封した返信用封筒により返送していただいております。また、「オンライン申請方式」では、マイナンバーカードをお持ちの世帯主の方であれば、内閣府が運営するマイナポータルサイトから申請できる仕組みとなっております。なお、本市の給付金の申請期限は、8月25日までとなっております。

問 高齢者及び障害者への給付について。

市長 高齢者等への給付早期実現について、親切・丁寧な申請手続きの案内及び支援、申請手続きが困難と思われる方々の把握に努め、申請支援を行うよう関係部署に指示しております。一日でも早く給付金を給付できるよう、給付金給付事業を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症の救済策について

問 市税の猶予・減免措置について。

企画財務部長 猶予制度といったしましては、令和2年2月1日から3年1月31日までの間に納期限が到来する税目を対象に、2月以降の任意の期間における収入が、前年同期と比較して概ね20パーセント以上減少している法人、個人に対し、納期限から1年間、無担保かつ延滞金無しで、納税を猶予する特例制度を設けております。次に、減免措置としては、中小企業等が所有する償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税及び都市計画税につ

いては、令和2年2月から10月までの連続する3か月の売上高が、前年同期と比較して30パーセント以上50パーセント未満減少した場合は、令和3年度分の固定資産税及び都市計画税の標準課税を2分の1に軽減し、同様に50パーセント以上減少した場合は、課税を免除する措置を設けております。

市長 水道料金及び市営

問 今後の救済策について。

住宅の家賃などに対する今後の救済策については、個別相談において各種制度を活用していただいた上で、真に必要であるかを見極めながら支援策を講じてまいります。



感染予防にマスクの使用と手の消毒をしましょう。

委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

総務委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、6月9日に開催されました。審査は、本委員会へ付託された令和2年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分、令和2年度結城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、結城市行政組織条例の一部を改正する条例について、結城市印鑑条例の一部を改正する条例について、結城市手数料条例の一部を改正する条例についての議案6件、結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任についての選任1件について審査を行いました。

審査の結果、委員会に付託された議案6件、選任1件についてはすべて原案のとおり可決されました。

●総務委員会



●産業・建設委員会



産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、6月10日に開催されました。審査は、本委員会へ付託された令和2年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分、町の区域の設定についての議案2件、結城市農業委員会の委員の選任についての選任16件について審査を行いました。

審査の結果、委員会に付託された議案2件、選任16件についてはすべて原案のとおり可決されました。

教育・福祉委員会は、副市長・教育長・関係部課長の出席を求め、6月11日に開催されました。審査は、本委員会へ付託された令和2年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分1件について審査を行いました。審査の結果、委員会に付託された議案1件については原案のとおり可決されました。また、委員会終了後には、新型コロナウイルス感染症の対応についての勉強会を行いました。まず、執行部より県・市の状況及び対応について説明を受け、その後、市内医療機関での対応について、城西病院と結城病院の現地視察を行いました。

●教育・福祉委員会



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から常任委員会の開催場所を通常の委員会室から議場に変更しました。

議員表彰

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会より、議員25年として、船橋清議員に、また、茨城県市議会議長会より、議員8年として、大橋康則議員にそれぞれ市政の発展に尽くされたことに対し、表彰状が授与されました。



大橋 康則
議員



船橋 清
議員



令和2年第3回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

9月	9日	本会議（開会）
	10日・11日	一般質問
	14日・15日・16日	常任委員会
	17日・18日・23日	決算特別委員会
	25日	本会議（閉会）

※日程が変更になる
場合もあります。

詳しいことは、議会事務局まで
(0296-32-1111 内線 304・305)

ケーブルテレビで 生中継をしています。

結城市議会では、議場（市役所本庁舎3階）で行われている議会中の映像を、ケーブルテレビにて生中継をしています。次回、令和2年第3回定例会の放送は、9月9日、10日、11日、25日の計4回を予定しています。

■放送内容 開会日（9月9日）

一般質問（9月10日、11日）

閉会日（9月25日）

■放送開始時刻 午前10時

※チャンネルは、地上デジタル「112」



朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、月号、CD版の発行や対面朗読を行っています。ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

編集後記

第1弾の発令から約7週間に渡って続いた緊急事態宣言が全面解除されましたが、我々は依然、その第2波、第3波に警戒しながら新たなウィズコロナの生活スタイルを模索しております。長引く自粛生活の中、経済への影響は大きく、その支援策は多くの皆様に必要とされています。また、今までにない長期に渡る各学校の休業がもたらす子供たちへの影響も大変心配される所であり、このような状況の中で開かれた今回の定例会では、コロナ対策の補正予算を中心に議論を進めてまいりました。これを受け、各方面追加の支援策を進めていくことになりました。今こそ結城市全ての力を合わせ、互いに知恵を出し合い、この難局を乗り越えてまいりましょう。

（情報推進委員）

表紙によせて

表紙は、結城市書道連盟会長であり、毎日書道展審査会員でもある三木翠耿先生の作品です。文字は、象形文字の雲（双雲）で、陰陽・阿吽・男女を表現しています。結城の地が瑞雲の源となり、歴史ある文化を繋いでいってほしい、また、結城市民の御多幸と平安無事を祈る三木先生の思いが込められています。

